

平成 20 年 度

新見市男女共同参画基本計画

にいみ男女共同参画プラン 実施計画・実績書

総務企画部企画課

# 基本目標Ⅰ あらゆる分野への男女共同参画の促進

## 重点項目-1 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進

### (1) 行政における女性の参画促進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
審議会等への、女性委員の登用を積極的に進めるため平成22年度までに、女性委員の平均登用率の目標値を30%に定める。また、職員の任用、管理監督者への登用および職域拡大を図り、能力開発のための研修機会の充実を図る。	○審議会等における女性委員の比率 新見市23.4%・・・平成21年6月1日現在	関係各課
	○女性委員がない審議会の解消 各種団体・組織の長がその職に就いているケースが多く、その長が男性である場合が多いため、女性の委員がない審議会がある。また、専門知識を有する者等女性の人材不足の場合もある。 今後、充て職等の選考基準を見直す必要がある。	総務課
	○能力ある職員の登用を積極的に行うとともに、女性の活躍の場の確保に努めた。 市職員524名・・・うち女性職員162名 女性比率30.9%	学校教育課
	○学校職員の管理職への女性の登用促進を図るため、優秀な人材に管理職選考への受験を促し、管理職への推薦も積極的におこなったが、男女比ではまだ女性が少ないため、今後も積極的に推薦し、受験の機会を与えていく必要がある。(校長6名 教頭11名)	

### (2) 企業、地域団体等における女性の参画促進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
男女共同参画社会に関する情報提供を行い、方針決定の場に男女共同参画の考えが浸透するよう、また、女性の能力発揮のための積極的取り組みへの働きかけを行う。	○生涯学習課所管の社会教育・社会体育団体等の活動や会議において、女性が発言しやすく、能力発揮のための環境づくりとなるよう指導・助言を行い、女性の積極的な発言、活動が芽生えてきている。	生涯学習課
	○市政懇談会を市内15か所で開催。積極的な女性の参加もあり、市政について女性の視点からの意見や提案を、発表する機会を持つことができた。 また、テーマを絞ったフリートークを市内4か所で開催し、公募による開催の「おでかけ市長室」を5か所で開催した。 対象 小学生、会社員、子育て中の保護者など	企画課

## 重点項目-2 家庭生活と地域社会への男女共同参画の促進

### (1) 家庭生活における男女共同参画の促進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
男女が共に職業生活と家庭生活との両立ができるようにする、という観点に立った広報活動を推進するとともに学習機会を提供する。	<p>○幼児クラブ交流会のイベントや保育所の参観日、講演会等の行事への父親参加の呼びかけを実施した。</p> <p>○公民館事業において男性料理教室・グラウンドゴルフ大会を開催し、男女が共に学び活動できる体制の実現、男女共同参画の意識づくりを行っている。 「男性料理教室」開催回数9回 「グラウンドゴルフ大会」開催回数6回</p> <p>○認知症の人とその家族を支え、だれもが暮らしやすい地域をつくり、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、「認知症サポーター養成講座」を開催し、介護時の認知症に対する正しい知識を得る機会を男性に対しても提供している。 講座開催数22回 受講者数775人 (男性287人)</p>	<p>社会福祉課</p> <p>生涯学習課</p> <p>高齢者支援課</p>

### (2) 地域社会における男女共同参画の推進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
ボランティア活動やNPO活動など社会活動、公民館活動など地域活動へ男女がともに参画できるよう情報提供や、参加を推進する。また、賢い消費者の育成や環境保全活動への参画推進、相談体制の充実を図る。	<p>○スポーツ少年団や地域の青少年育成団体等の会議等で男女共同参画の意義や考え方を広報し、親子で男女共同参画社会に向けての意識づくりを図った。</p> <p>○新見市民運動推進協議会が中心となり「川をきれいにする運動」を実施し、市民、約12,000人の男女が協力して、地域の美化活動に取り組むことができた。</p> <p>○子ども料理教室などを開催し、親子で男女共同参画社会に向けての意識づくりを図った。 「子ども料理教室」開催回数8回</p>	生涯学習課

## 重点項目-3 国際化社会に対応する男女共同参画の推進

### (2) 異なる文化を認め、多文化共生をめざす意識づくり

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
異文化理解のための講座・交流機会の充実や国際理解教育を推進する。	<p>○公民館事業で英会話教室、中国文化講座等、異文化への理解を深めるための行事を開催した。 「国際交流関係講座」開催回数16回</p> <p>○新見市国際交流協会による、講演会、英語、中国語、ハンダ語講座を開催、市民参加による国際交流ふれあいデイも開催しており、参加者の国際感覚を養うこともできた。</p> <p>○各校ALTが担任とともに英語活動を実施、異文化交流等国際交流理解を推進している。</p> <p>○市民課の窓口で「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」(岡山県国際交流協会発行)や「在外外国人巡回相談」(岡山県国際交流センター主催)の実施案内を配布し、活用されている。</p>	<p>生涯学習課</p> <p>総務課</p> <p>学校教育課</p> <p>市民課</p>

## 基本目標Ⅱ 男女共同参画社会に向けての意識づくり

### 重点項目-1 男女共同参画の視点での社会制度・慣行の見直し

#### (1) さまざまな機会と方法による啓発活動の充実

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
固定的な性別役割分担意識や男性優位の考え方を払拭し、男女共同参画の視点に基づいて職場・家庭・地域における慣行を見直すようあらゆる機会と方法を活用して啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画講座の開催 ほっとひといき 心にゆとりを(講座) 18人</li> <li>○男女共同参画社会づくりフォーラム開催 21年1月17日開催 180人参加(男性も多数参加)</li> <li>○広報紙、ホームページ等による広報・啓発活動</li> <li>○男女共同参画情報紙「りぼん」発行 20年8月、21年2月 年2回発行</li> <li>○男女共同参画プラザでは、各種情報を収集し閲覧や、図書、ビデオの貸出を行っている。 (図書 239冊 ビデオ・DVD 60本)</li> </ul>	企画課

#### (2) 市職員・教職員に対する研修の充実

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
市職員等への研修や啓発、情報提供や、組織内の制度や慣習を男女共同参画の視点で見直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画形成セミナー(ウィズセンター主催)へ職員を派遣するなど、各種研修に積極的に派遣した。</li> <li>○来客、会議等のお茶くみ、退庁時の清掃等についても手の空いたものが行い、また、紙コップ、ペットボトル等の利用が増加し、女性のみが行うことはなくなっている。職場内の慣行の見直しや性別役割分担意識も改善してきている。</li> </ul>	企画課  関係各課

## 重点項目-2 男女共同参画を推進するための教育・学習の充実

### (1) 学校等における男女平等教育の推進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
学校教育を通じて、個人の尊厳、男女平等に関する教育の推進と学習機会を提供する。	<p>○児童・生徒への学習機会の提供 各学校に人権教育担当者をおき、教育活動の重要な柱として人権教育を推進している。学校での男女平等についての指導は、日常生活の中や、いろいろな教育活動を通じて、人権教育を充実させる取り組みの中で実施している。</p> <p>○各学年の実態に応じた人権教育の見直しと推進を図った。</p> <p>○岡山県教育委員会主催の研修に教職員を積極的に参加させている。</p>	学校教育課

### (2) 社会における男女平等を推進するための学習の充実

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
生涯を通じて、個人の尊厳、男女平等の意識を高め、多様化するニーズに対応した学習機会の充実をはかり、グループ・団体等のネットワーク化を推進する。	<p>○公民館での人権講座を開催した。開催数1回</p> <p>○乳児健診(3~4カ月・9~10カ月)、1歳6ヶ月健診、2歳6ヶ月歯科健診、3歳児健診のそれぞれの健診を月1回実施し、夫婦一緒に来たり、父親だけで健診に来る人もあり、子どものことは母親といった固定観念は無くなり、保護者として父親も母親も同等であり、子育ても一緒にといった夫婦が増えている。</p> <p>○ひよこクラス(友達作りの場・育児相談)を毎月1回・BABYすくう〜る(離乳食の進め方・小児科医師の講話等)を4回実施した。また、産婦、新生児、乳児訪問を保健師が実施しているが、父親が家にいる時間であれば、母親と一緒に質問したり、相談したりすることが多くなっている。 ひよこクラス参加者数327人</p> <p>○ステップアップ講座(絵手紙教室)を開催 講座参加者29人</p> <p>○男女共同参画プラザを活用し、学習機会や交流機会および活動の場所の提供をおこなっている。</p> <p>○男女共同参画プラザに相談員を配置し、さまざまな相談に対応している。また、専用電話も設置している。</p>	生涯学習課 健康づくり課 企画課

## 基本目標Ⅲ 男女共同参画のための働く環境の整備

### 重点項目-1 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

#### (1) 労働に関する法律・制度の周知

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
労働基準法、男女雇用機会均等法など労働に関する法律や制度などを周知徹底する。	○市として、事業所等に対し労働に関する法律・制度の周知等、具体的な取り組みはできていないが、パートタイムガイダンス開催などハローワーク新見や、21世紀職業財団等と連携して取り組んでいる。また、岡山労働局雇用均等室主催のセクシャルハラスメント防止等のセミナーの開催、広報紙市報にいみに男女雇用機会均等法改正に伴う説明会・相談会について周知を図っている。	商工観光課

#### (2) 女性の能力発揮への支援

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
資格取得、技術取得の機会を充実し、女性の能力活用について啓発を行う。	○パソコン講習会 6期(1期10回、1回2時間)  ○広報紙市報にいみでのウイズセンター主催のキャリアアップ講座の周知を行った。	商工観光課  企画課

#### (3) 女性の妊娠・出産に関する健康管理対策の促進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
女性が働きながら安心して子どもを産むことができる環境を整備する。	○母子手帳交付に合わせて、「母性健康管理指導事項連絡カード」を配布し、事業者へ妊娠や出産に関する健康管理の重要性について周知を図っている。	健康づくり課

#### (4) 多様な働き方の支援

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
女性に多いパートタイム労働者や、起業を希望する女性に対して情報を提共する。	○窓口等にウイズセンター主催の起業応援セミナーのチラシを配布し、広報誌を通しての情報提供も行った。	企画課

## 重点項目-2 家族経営的な職業における男女共同参画の確立

### (1) 農林業および自営の商工業者における男女共同参画の推進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
家族経営協定の普及を図り、家族経営的な職業に従事する女性が各種委員会の委員や、団体等の役員に参画できるよう支援し、また、権利が確保されるよう施策を推進する。	<p>○家族経営協定推進地区を設定し、研修会、実践農家の活動発表、先進地視察等を行った。 家族経営協定締結数 36戸</p> <p>○認定農業者ニュース(年2回発行)での啓発を実施している。(新見市担い手育成総合支援協議会、新見農業普及指導センター)</p> <p>○認定農業者を対象に家族経営協定推進パンフレットの配布している。</p> <p>○「新見 農と地域を考える集い」を開催し、男女共同参画の意識高揚を図った。</p>	農林課

## 重点項目-3 男女の仕事と家庭・地域生活の両立支援

### (1) 多様なライフスタイルに対応した子育て支援の充実

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
保育サービスの整備および在宅の乳幼児も含めた子育て支援策を検討実施する。	<p>○無認可保育園への助成・支援 無認可保育園(8か所)へ20,996千円、幼児クラブ(11か所)へ1,216千円、放課後児童クラブ(2か所)へ6,476千円助成。</p> <p>○多様な需要に応える保育サービスの推進 延長保育、障害児保育、休日保育等 延長保育年間利用人数433人 休日保育年間利用人数47人</p> <p>○在宅児も含めた子育て支援の推進 一時保育、子育て支援センター、子育て広場等の充実 一時保育年間利用人数1,061人 子育て支援センターおよび子育て広場の年間利用人数14,772人</p> <p>○放課後児童クラブ(学童保育)の充実 放課後児童クラブ(2クラブ)登録者 564人(延べ人数)</p> <p>○児童手当の充実 被用者児童手当 6,141 61,410千円 非被用者児童手当 1,080人 10,800千円 特別例付 57人 570千円 被用者小学校3年終了前特例給付22,220人 130,845千円 非被用者小学校3年終了前特例給付4,287人 25,080千円</p>	社会福祉課

<p>○子育て支援センターでの支援活動と保育 園庭開放時に紙芝居やリズム体操等の外に新見短大生と一緒に遊んだり、子育て座談会や身体測定など行った。 食育ミニ講演では栄養士を講師として招き食育の大切について学んだ。今、食育は大変重要視されており、母親にとって毎日の生活の中で抱えている課題が多く、みんなで話し合うよい機会となった。 また、交通安全や熱中症予防講演を行い、新見短大生の実習の場として幼児とふれあい育成の提供等行った。</p>	
<p>平成20年度園庭開放利用延べ人数 子ども 1,929人 保護者 1,950人 計 3,879人</p>	
<p>○次世代育成行動計画により、多様なライフスタイルに対応できるよう子育て支援策の充実を図る。</p>	
<p>○子育て支援コーディネーターを配置 子育て支援情報集約、蓄積、ホームページによる情報の公開等を行い、また、電話による保育依頼等にも民間で立ち上げている「にいみ保育サポーター」と連携を取り保育のサポートを行っている。</p>	
<p>○乳幼児医療の充実 平成21年度4月から小学6年生までを対象とし、医療費自己負担額（付加給付金・高額療養費を控除）を全額支給 受給対象者数 3,346人 医療費助成金額 76,236,607円</p>	市民課
<p>○公民館を中心とした放課後子ども教室を実施した。 市内公民館10館を指定し、地域文化や地域住民とのふれあいを取り入れた事業を展開（10教室実施）</p>	生涯学習課

(2) ひとり親家庭等の自立支援

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
ひとり親家庭等の自立を支援する。	<p>○各制度(児童扶養手当、医療、就学貸付等)の紹介や情報を提供することにより、自立支援を行った。 平成20年度 33件</p> <p>○母子自立支援員による窓口および電話相談をおこない、各機関との連携を図りながら支援を実施した。</p> <p>○新規ひとり親家庭へ「新しい生活を始めるためのガイドブック」を配布した。</p>	社会福祉課

(3) 仕事と育児・介護の両立のための雇用環境の整備

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
育児・介護休業法の定着促進と、仕事と育児や家族の介護を両立させるための環境を整備する。	<p>○育児休暇・介護休暇取得者の取得期間・復帰時期については原則本人希望により行っている。 育児休暇取得者 6人 介護休暇取得者 1人 育児休暇復帰者 7人</p> <p>○育児休業の取得促進について、校園長会や通知文等により啓発を行っている。</p> <p>○関係各課と連携と図りながら、各種制度の紹介や情報を提供し、家庭・地域生活の両立支援を行っている。</p>	<p>総務課</p> <p>学校教育課</p> <p>社会福祉課</p>

(4) 介護支援体制の充実・整備

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
<p>介護保険、介護サービス等の在宅福祉施策を充実させる。</p>	<p>○身体障害者・知的障害者・精神障害にかかわらず、障害のある人が必要とするサービスを利用できるように審議した。            審議会対象者数 41名            審議会開催数 10回</p> <p>○地域包括支援センターを設置し、地域で暮らす高齢者が、住み慣れた土地で生き生きと生活できるよう、介護予防・高齢者の相談等に応じ、プランの作成、サービスの紹介等総合的に行っている。</p> <p>○寝たきりや認知症高齢者を在宅で介護している介護者へ介護手当(月額1万円)の支給や介護用品の給付による経済的負担の軽減と家族介護者の交流会や日帰り旅行等で介護者の精神的負担の軽減を図った。</p> <p>家族介護者交流事業 開催9回 参加者93人</p> <p>介護手当給付(月額10,000円)            上期264人 13,460千円            下期256人 13,490千円</p> <p>介護用品給付 35人 1,332千円</p> <p>給食サービス 784人 5,311食 2,535千円</p> <p>○介護保険認定更新時や介護保険制度についての相談等で来庁された際に「介護保険サービスのご案内」のパンフレットを使い、サービスの内容説明、情報提供を行った。</p>	<p>社会福祉課</p> <p>高齢者支援課</p>

## 基本目標Ⅳ 男女の人権が尊重される社会づくり

### 重点項目-1 メディアにおける人権の尊重

#### (1) メディア・リテラシーへの取り組み

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
メディア・リテラシーのための広報活動や講座など学習機会を提供する。	<p>○岡山県主催による人権教育研修へ、管理職、教諭が参加し、各校園において伝達を行った。</p> <p>○新見市のホームページに男女共同参画コーナーを設け「新見市男女共同参画まちづくり条例」「男女共同参画プラン」などを載せて啓発に努めている。</p>	<p>学校教育課</p> <p>企画課</p>

#### (2) 行政刊行物等の表現における男女平等の推進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
市が作成する刊行物等については、男女共同参画社会の視点に立って作成する。	○庁内、広報公聴委員連へ、性にとられない表現の周知徹底を図っている。	企画課

#### (3) 高度情報通信社会における新たな課題への対応

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
インターネット等について人権に配慮した正しい利用についての啓発を行う。	<p>○児童・生徒に対し、積極的なインターネットの活用を図ると共に正しい利用方法をきちんと指導し、犯罪の加害者や被害者にならないよう指導している。</p> <p>○インターネット等の利用の中で人権に配慮した情報の発信・収集等について啓発を行った。</p> <p>○ケーブルテレビの行政放送の中で人権に配慮した取材・番組制作・放送に努めた。</p> <p>○セキュリティーポリシーに基づき、職員に対する研修やネットワークを通して周知徹底した。</p> <p>○まなび広場のメディアフロアでは、利用者に対して、公共の施設であることへの認識を深めたり注意の喚起を行い、ブログ等への不適切な書き込み等のチェックを行っている。</p> <p>○民間社会教育事業者(通信情報事業者)の学習講座を許可し、インターネット等の正しい使用方法等についての研修を深めた。 2公民館で実施</p>	<p>学校教育課</p> <p>情報政策課</p> <p>生涯学習課</p>

## 重点項目-2 女性に対するあらゆる暴力の根絶

### (1) 女性に対する暴力の発生を防ぐための基礎づくり

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
セクシャル・ハラスメント防止にむけた、広報活動及び防止対策等の環境整備を推進する。	<p>○服務規律の中で、セクシャル・ハラスメント防止についても徹底している。また、相談体制についても確立している。</p> <p>○岡山県の相談窓口の周知徹底を図った。</p> <p>○管理職および教諭が岡山県教育委員会主催の人権教育研修へ参加した。</p> <p>○校園長会において教職員の服務規律の徹底を呼びかけ、各校園において職員に周知した。</p>	<p>総務課</p> <p>学校教育課</p>

### (2) あらゆる暴力への対策

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
DV防止法等関係法令の周知、相談しやすい環境整備、相談機関の連携を図る。	<p>○男女雇用機会均等法、DV防止法など関係法令について新見市ホームページに掲載し徹底を図っている。</p> <p>○相談機関として、男女共同参画プラザを設置し、相談員を配置している。広報紙等活用しながら機会ある毎に周知を行っている。 開設日時 水曜～金曜 10～18時</p> <p>○必要に応じて社会福祉課、警察署、配偶者暴力支援センター等と連絡している。</p> <p>○母子自立支援員による平日相談業務の実施している。</p> <p>○相談機関の連携を図り、パンフレット等により相談窓口の周知を実施している。</p> <p>○社会福祉事務所、家庭児童相談員、母子自立支援員が連携し、自立支援に役立つ情報を提供している。</p> <p>○高齢者に対する身体的、経済的虐待について、相談しやすい窓口と、迅速な対応を図ることを目的に「高齢者虐待対応マニュアル」を作成した。 また、介護関係事業所にも説明会を実施するなど共通理解と十分な活用に向けて体制づくりを進めている。</p>	<p>企画課</p> <p>社会福祉課</p> <p>高齢者支援課</p>

## 重点項目-3 生涯を通じた健康等の支援

### (1) 性と生殖の健康・権利に関する意識の浸透

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
性と生殖に関する健康/権利の概念浸透のための、広報活動や学習機会の提供、青少年に対するHIV/エイズ等の正しい知識の普及を図る。	○HIV/エイズ教育は小・中学校において、薬物乱用防止教育については中学校において実施した。	学校教育課

### 37 (2) 生涯を通じた健康増進対策の推進

施策の内容	20年度実績(課題)	担当課
全ての市民が健康で、明るく、いきいきと安心して暮らせるよう、健康教育、健康相談、各種健(検)診等を実施し、正しい知識の普及と検診受診率の向上を図る。	<p>○地域住民の要望に応じて、健康教育を実施し、健康教育、健康相談、健康教室への男性の積極的な参加を促した。 健康教育開催数190回</p> <p>○各市民センターを中心に46日間の日程で集団検診(特定健診、健康診査、各種がん検診等)を実施した。</p> <p>○平成20年度から市内医療機関で個別健診(特定健診、健康診査、各種がん検診等)を実施した。</p> <p>○検診結果から、保健指導の対象となった人には生活改善の取り組みについてサポートを行った。</p> <p>○母子手帳の交付では、夫婦で一緒に来られたり、夫だけで来られることも珍しくなく、保健師による面接を行っているため、妊婦の状況等確認する中で、妊娠中に注意して欲しいことなど夫にも説明している。</p> <p>○妊婦および乳児健康診査受診無料券は、妊婦6枚(うち1枚は妊婦歯科検診用)、乳児3枚交付していたが、21年1月からは国の制度に先駆けて妊婦14枚(双胎16枚)乳児は3~4カ月児健診を実施したため、2枚交付とした。</p> <p>○妊婦の家庭訪問も高齢初産婦・若年妊婦を中心に希望する人にも実施しているが、病院で行っている両親学級についても母子手帳により確認しているが参加率は高くなっている。</p> <p>○乳ガン・子宮ガン検診を集団・個別検診方式で実施。マンモグラフィ検査は集団のみ実施 受診者 乳ガン 2,199人(内マンモ受診者 1,685人) 子宮ガン 1,891人</p>	健康づくり課

